

令和2年度 市民協働事業提案制度のプレゼンテーション結果報告について

市設定テーマ部門「阪南 TV(インターネットテレビ)」

(1)採用 (条件付)

提案団体:「泉州電波発信協会」

1. 理由

- ①行政の提起した課題を理解した企画内容であり、しっかりとした目標設定がなされているため。
- ②若い世代を中心とした、市民の参加を促進する内容であるため。
- ③実施体制が専門性を有する人たちで構成されており、事業の安定性が期待できるため。
- ④「協働」について理解しており、役割分担・連携が見込まれるため。

2. 事業推進にかかる留意事項(条件)

【団体】

- ①事業期間において、提案内容を継続的かつ着実に実施し、安定した取り組みになるよう努めること。
- ②若い世代だけでなく、幅広い世代を対象としたコンテンツを企画し、魅力のある発信を行うこと。

【担当課】

- ①十分な協議を行い、阪南 TV のビジョンを明確かつ共有し、全体としての構成づくりに努めること。
- ②いつでも視聴できるインターネットテレビならではの強みを生かし、幅広く重要な運用を行うこと。

(2)不採用

提案団体:「合同会社 B-RAY」

1. 理由

- ①行政の課題提起に沿った提案内容ではなかったため。
- ②行政と協働して番組を制作するという視点・認識が十分ではなかったため。
- ③番組の内容のコンテンツが限定され、若い世代や多様な市民層へのアプローチが十分ではないため。

※ただし、これまでの阪南市の貴重な歴史的・文化的遺産の取材実績や映像として残し、次世代へ引き継ぐ取り組みは、市民の郷土愛を高めるものであり、高く評価する。

経過

7月26日 第1回 阪南市市民協働推進委員会開催

- ・「令和2年度(今年度)の市民協働事業提案制度の応募状況(仮提出)について」説明。

8月17日 令和2年度 阪南市市民協働推進委員会 審査部会(書類審査)

- ・公開プレゼンテーションへの参加の可否⇒2団体とも可

9月6日 公開プレゼンテーション・審査部会の開催

- ・審査部会から成案化に向けた協議に進める事業の選定について提言書が提出された。
⇒提言の内容は別紙(資料1-2)参照

10月13日 市長から提案団体へ選定通知

- ・提言書を踏まえ、提案団体へ選定通知書を送付。

今年度(令和2年度)の取り組み (担当課:秘書広報課)

10月29日 採択団体と打合せを実施し、提案内容及び映像制作スケジュールについて確認を行った。

詳細部分については、今後打合せを行っていく予定。